

2025年12月26日

プレスリリース

一般社団法人 iCD 協会

**IT とモビリティの融合を加速させる「SDV スキル標準」を iCD フレームワークへ実装
～自動車技術会が発表した最新基準に対応、次世代モビリティ人材の育成を支援～**

一般社団法人 iCD 協会（東京都千代田区、以下 iCD 協会）の SDV スキル標準部会（主査：荒木泰晴／株式会社エンベクスエデュケーション）は、公益社団法人自動車技術会が 2025 年 3 月に発表した「SDV スキル標準」の内容を、iCD（i コンピテンシ・ディクショナリ）フレームワークへ取り込んだことのお知らせいたします。

これにより、従来の IT 領域におけるスキル基準に加え、自動車業界で急速に求められている SDV（Software Defined Vehicle）に対応した人材像が明確化され、IT とモビリティ両領域の比較・連携が可能となります。

■ 背景と目的

現在、自動車業界は「100 年に一度の変革期」を迎え、ソフトウェアが車両の価値を定義する「SDV」への移行が加速しています。しかし、従来の自動車開発（メカ・ハード）と進化する IT（ソフトウェア・クラウド）の領域を橋渡しできる人材の不足が、業界全体の大きな課題となっています。

iCD 協会では、この課題を解決するため、自動車技術会が 2025 年 3 月に発表した「SDV スキル標準」をいち早く iCD のタスク・スキル構造に統合いたしました。これにより、企業は自社のエンジニアがどの程度 SDV に対応できているかを客観的に把握し、戦略的な人材育成計画を策定することが可能になります。

■ 今回の取り組みによる差別化要素・ポイント

1. IT とモビリティの「言語」を統合

IT 標準（iCD）と自動車業界標準（SDV スキル標準）を紐付けることで、異なる領域間のスキルギャップを可視化。相互のスキル移転やスムーズな連携を可能にします。

2. 最新の「SDV スキル標準」に完全準拠

自動車技術会が公開した「SDV スキル標準解説書」の定義をベースとしており、業界のデファクトスタンダードに即した人材戦略を構築できます。

3. 企業の DX 推進と競争力の強化

モビリティと IT が融合する次代の人材像を明確化することで、企業の DX 推進を支援し、グローバルでの競争力強化に寄与します。

■ 関連リソース

本取り組みのベースとなる「SDV スキル標準」の詳細は、以下の解説書をご参照ください。

- SDV スキル標準解説書（公益社団法人自動車技術会）

[https://www.jsae.or.jp/files_publish/page/1299/SDV スキル標準解説書 0331.pdf](https://www.jsae.or.jp/files_publish/page/1299/SDV%20スキル標準解説書%200331.pdf)

■ 今後の展望

iCD 協会 SDV スキル標準部会では、今後もモビリティ関連企業および IT 企業双方の知見を集約し、実務で活用しやすいリファレンスモデルの提供や、セミナー・勉強会を通じた普及活動を推進してまいります。

■ 一般社団法人 iCD 協会

本社所在地：〒101-0046 東京都千代田区神田多町 2-2-22 千代田ビル 5F

理事長：金 修

設立：2018 年 2 月

事業概要：独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が公開した「iCD (i コンピテンシ ディクショナリ)」に関する調査及び研究、普及啓発及び指導、情報の収集及び提供等

URL：<https://www.icda.or.jp/>

【参考：SDV スキル標準への取り組み（公益社団法人自動車技術会）】

URL：<https://www.jsae.or.jp/assoc/hrd/sdvss/>

当リリースに関するお問い合わせ先

一般社団法人 iCD 協会

担当：広報担当

Mail：icda-info@icda.or.jp

Tel：03-4530-6226